

「江戸の名優 市川團十郎の魅力」

- 開催日 : 平成26年3月11日、18日（火曜日2回）
- 会場 : 埼玉県県民活動総合センター 210セミナー室
- 講師 : 木村 涼 先生（日本学術振興会特別研究員、法政大学兼任講師・博士（歴史学））



受講生の皆さんは、木村先生の熱心な講義に引き込まれていきます。



成田山新勝寺と市川團十郎家との関係に「そうだったのか〜」と皆さん。歴代の団十郎は、度々不動明王を演じました。



箭弓稲荷神社（東松山市）には、同神社を篤く崇敬していた七代目が奉納した祠があります。

・・・内容・・・

第1回（3月11日）は、「市川團十郎と成田山新勝寺」というテーマで、お話をいただきました。なぜ市川團十郎家の屋号は「成田屋」なのか!?!そこには初代からの成田山新勝寺との深い縁がありました。また、今日まで続く團十郎家の家系図を見ながら歴代の團十郎の生涯やジンクスなどについて興味深いお話をいただき、質疑応答では次々と質問が出されて、皆さんの関心の高さを感じました。

第2回（3月18日）は、「波乱万丈の生涯 七代目市川團十郎」と題し、七代目にスポットを当てた講義でした。常に江戸歌舞伎役者の上位に君臨した七代目は、歌舞伎十八番を制定するなど、名実ともに「千両役者」。一方で息子たちの早世や、天保の改革により奢侈禁止令に抵触したとして江戸から追放されるなどの悲運にも見舞われ、その波乱万丈の人生について学びました。

3月21日は、国立劇場で歌舞伎を観劇いただくオプションツアーです。国立劇場伝統芸能館でのレクチャーの後、春のひと時を歌舞伎鑑賞でお楽しみください。



天保11年、七代目は初代生誕190年の「壽」として勸進帳を初演。